

令和元年度第2回奈良市体育施設指定管理者選定委員会会議録		
開催日時	令和2年1月20日（月） 午前10時00分から	
開催場所	奈良市役所 北棟4階 市民部会議室	
議 題	1 会議録署名委員の選出 2 奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設に係る指定管理者の候補者の選定（公募・面接審査）について	
出席者	委 員	馬場委員長、高橋委員、星野委員、深村委員、中川委員
	事務局	スポーツ振興課池田課長、北森課長補佐、森田課長補佐、小嶋係長、岡本、森本
開催形態	非公開	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 会議録署名委員に馬場委員長と深村委員が選出された。 ● 奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設に係る指定管理者に応募があり、第1回会議において面接対象となった2団体の面接審査を行い、「奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ」を指定管理候補者、「長谷川体育施設・キタイ設計・Real Style グループ」を次点指定管理候補者として選定することが適当であると決定した。 	
担当課	市民部 スポーツ振興課	
議事の内容		
<p>1. 会議録署名委員の選出 会議録の署名委員を、馬場委員長と深村委員とする。</p> <p>2. 奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設に係る指定管理者の候補者の選定（公募・面接審査）について 指定管理者に応募があり、書類審査の結果、面接審査の対象となった2団体に対し、「長谷川体育施設・キタイ設計・Real Style グループ」「奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ」の順に面接（申請者による説明・質疑応答）を行った。</p> <p>質疑応答 「長谷川体育施設・キタイ設計・Real Style グループ」</p> <p>① 野球場の水はけや芝生管理の現状はどういったものか。また、改善の余地は今後あるのか。 →当初、フェールラインが外野まで黒土であった為に段差がひどかったが、フェールラインに天然芝を敷き、不陸のない状態にした。芝生については、基本的に陸上競技場と同じ芝生を使っている。今後については、地形上水持ちが良いが、夏場は散水をしっかりと行い、平日も稼働率を下げない状態を保ちたいと考えている。</p> <p>② 現在の自主事業の利用者数や稼働率はどういったものか。また、新しい施設が増えることによって、具体的な数値目標や今後の自主事業をどのように展開していく予定でいるのか。 →現在、定期的に決まった曜日でプログラムを提供することは日程上厳しいが、そ</p>		

の中で施設の利用が無いタイミングで自主事業を行い、毎月100名程度の利用者が参加している。ただ、個々に品質の高いサービスを提供するという観点で行っているため、短時間で大勢の方にサービスを提供するという事は行っていない。今後について、初年度は無理な計画を立てずに、地元の方々や各スポーツ団体のニーズを把握し、二年目からしっかりとした数値目標や計画を盛り込んでいく。その中で、Real Style は奈良県で様々な事業を展開してきたので、そのポテンシャルを踏まえながら行っていきたい。

- ③ 11 体育施設の指定管理を外部委託することなく全て自ら行うことについて少し不安があるので、もう少し詳しく説明をお願いしたい。

→南部生涯スポーツセンターと柏木球技場・コートは、今までの管理内容と変わらない。体育館等の室内施設については、過去に室内施設の管理実績があること、天候にも左右されないことから今までの経験と知識で賄っていくことができると考えている。

- ④ 緊急的な対応等に対してどのように考えているのか。

→市と連携をして可能な範囲で協力体制を取りたいと考えている。

- ⑤ 社員に対しての研修体制はどういったものか。

→キタイ設計が責任を持って教育を行う。現場についての教育は、実際に経験をさせて現地で行っていく。

「奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ」

- ① 鴻ノ池フィールドサポーターズクラブについて、見通しはどのように考えているか。

→弊社が運営している他の場所でも似たような取り組みを行っていること、また奈良市においてもグリーンサポーター制度があり、すでに同じような取り組み実績があることから実現可能であると考えている。

- ② 利用者ニーズに合わせた自主事業の実施とあるが、具体的にどのように展開するのか。また、謝礼金等の予算についてももう少し詳しく教えてもらいたい。

→自主事業については、弊社が持っているコンテンツを用いての提案なので、実施可能であると考えている。また、現場のスタッフだけでは賄えない大きなイベントや特殊な能力を必要とするイベント時には、弊社の人員からもイベント応援に行く。謝礼金については、現在も中央体育館や南部生涯スポーツセンターで実施している自主事業で使っているため、今後も継続していきたい。

- ③ 緊急的な対応等に対してどのように考えているのか。

→物理的に可能なものであれば柔軟に対応したい。また、変形労働時間制のシフトを採用しているため、突発的な対応にも比較的動きやすいと考えている。

- ④ 植栽管理等は基本的に委託になるのか。

→樹木管理や設備等の日常点検においては出来る限り常駐スタッフで行う予定であるが、定期的な保守点検等は委託で考えている。

- ⑤ 野球場のローラー転圧について、今までにないようなことであるのか。

→これまでも行ってきたと思うが、頻度を今以上に多く行っていきたいと考えている。

- ・ 審査項目表により採点
- ・ 委員の審査項目表を集め、事務局で採点集計
- ・ 委員による採点集計表の確認
- ・ 事務局から採点集計の報告
- ・ 書類審査の結果に基づき、奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設の指定管理者に申請のあった「奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ」を指定管理者候補者、「長谷川体育施設・キタイ設計・Real Style グループ」を次点指定管理者候補者と決定した。